

## 平成25年度 2学期始業式 式辞

- ◇ おはようございます。校長の牧野です。
- ◇ 一昨日と昨日の朝は、随分と涼しかったですが、それにしても今年の夏は本当に暑かったですね。
- ◇ 今夏の猛暑は、近畿などが梅雨明けした直後の7月10日から真夏日が続いていました。
- ◇ 8月12日には、高知県の四万十市で、国内観測史上最高の41.0℃を記録し、四万十市は10日から4日連続40℃でした。
- ◇ そのような中、この夏に大会等で頑張ったクラブから、たくさんのいい知らせが届きました。
- ◇ 女子バレー部は、春高バレーで並みいる強豪を抑えて、大阪西地区Cブロックで優勝し、決勝ラウンドに進出します。しかも決勝ラウンド進出は、12校中、府立高校は泉北高校と日根野高校の2校のみという快挙です。
- ◇ 陸上部では、近畿大会に2大会連続出場のハンマー投げの2年生岸本君は記録を大きく伸ばしました。そのあと、同じく陸上部で1年生の山本君が男子ハンマー投げで近畿大会出場の切符を手に入れました。彼は、高校に入ってから初めてハンマー投げに挑戦し、わずか数カ月で快挙を成し遂げました。
- ◇ 吹奏楽部は、この度の吹奏楽コンクール南地区大会において優秀賞を受賞、併せて府大会出場を果たしました。府大会でも優秀賞を受賞し、惜しくも関西大会進出にはなりませんでしたが、小編成部では公立高校のトップに立ちました。
- ◇ 13年前に府大会に出場しましたが、奨励賞と悔し涙を流してきました。しかし、今年は過去の悔しさをバネにして、このような栄冠をつかまれました。
- ◇ ヒネスイとしては、過去最高の快挙となりました。
- ◇ 美術部は、今年も大阪天王寺美術館で行われた高校展に15点出品し、そのうち9点が優秀賞4点、奨励賞5点が入賞するという成果を挙げました。
- ◇ ハンドメイド部は、第4回和菓子甲子園に、応募総数60組から、書類選考で、12組が、本選に、出場しました！
- ◇ メダルには手が届きませんでしたが、ハンドメイド部2年合田、黒崎ペア、1年妙中、中馬ペアが二組とも奨励賞をいただきました！
- ◇ テレビの取材も入っていて、8月29日木曜日午前11時30分から、12時の(ぐるっと関西お昼前)NHK総合に、様子が流れるとの事です！
- ◇ そのほか、バドミントン部は泉佐野市民スポーツ大会、テニス部も堺市の大会でそれぞれ優秀な成績を修めたと聞いています。
- ◇ 夏休み前の1学期の終業式でお話をしましたが、皆さんの持てるダイヤモンドの原石を見事に磨いて、光輝く宝石に変わりました。
- ◇ 辛い練習を通して、流した汗と涙はその証です。そのあとに見せた笑顔の奥にある目がキラキラと輝いていましたネ。私は、皆さんの素晴らしい笑顔を見るのが大好きです。
- ◇ このような結果がでたのも、皆さんの日頃からの練習の賜物と思いますが、顧問の先生方のご指導はじめ皆様のご支援のお陰もあることを忘れないで下さい。

- ◇ さて、この夏休みにスポーツを通して、私が感激して印象に残ったことをお話ししたいと思います。
- ◇ 一つは、モスクワで行われた世界陸上で、高校生の桐生君が活躍してくれたことです。
- ◇ 高校生で、これだけの能力を持って、世界の強豪と戦えるスプリンターが育っていることに奮威を感じ、また高校生が世界を相手に闘うことができるという夢を現実にしてくれたことです。
- ◇ 男子100mで予選敗退に終わって、「悔しさしかなかった。力不足です」と語りました。通過ラインとなる3位争いは僅差。
- ◇ ゴール後に祈るような思いで、電光掲示板を見上げるも、わずか0秒01届きませんでした。
- ◇ 4月に10秒01をマークしてから「時の人」となり、注目を浴び続けました。それでも、本人は次のように言いました。「高校生は基本づくり。大学に入ってから技術力を磨いていきたい。」「また、世界陸上にも出て、年齢を重ねるうちに強くなりたい。」
- ◇ 大舞台の経験を積んだ17歳のこれからが楽しみです。
- ◇ 君たちにも可能性は十分にあるということです。それは、努力精進と磨き方次第で夢を形にできるということです。
- ◇ もう一つは、米大リーグ、ヤンキースのイチロー外野手(39)が、プロ22年目で日米通算4千安打を達成したことです。
- ◇ その時のインタビューで答えた、彼の言葉にしびれてしまいました。何と言ったか。
- ◇ 「4千安打を打つには、8千回以上の悔しい思いをしてきた。それと常に向き合ってきた事実はある。」どうですか?!ふかいーい話だとは思いませんか?まだ、あります。
- ◇ 「これからも失敗を重ねていって、たまにうまくいって、ということの繰り返しだと思う。うまくいかないことと対峙するのは難しいが、これからもそれをしていく。」
- ◇ 「夢や目標を達成するには1つしか方法がない。小さなことを積み重ねること」
- ◇ 「やってみてダメだとわかったことと、はじめからダメだといわれたことは、ちがいます」
- ◇ 「手抜きをして存在できるものが、成立することがおかしい」
- ◇ 「結果が出ないとき、どういう自分でいられるか。決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる」
- ◇ 「何事も前向きに行動することが、可能性を生むんです」
- ◇ 8千回の悔しさを越え、金字塔を打ち立てた偉人の言葉には、感激しますね。イチロー語録にまた新たな言葉が加わりました。
- ◇ 皆さんも同じように、今までの頑張ったことは、これからの自信に繋がり、必ず将来の自分自身の財産になります。
- ◇ 「時代が求める人物像とは」の調査では、1位に「挑戦」が挙がったそうです。失敗を恐れなくて挑戦し続けてください。
- ◇ いろいろな体験を通して、発見・驚き・感動を自信に繋げ、将来への「夢」と社会貢献出来るような高い「志」を持つ人間に育ててほしいものです。
- ◇ 新学期を迎えるにあたって、最後に繰り返し、言っておきます。
- ◇ 「若者よ、失敗を怖れずに挑戦を」「やれる理由を見つけて挑戦せよ」
- ◇ まだまだ残暑が厳しいですが、熱中症にはくれぐれも気をつけて、ともに頑張っていきましょう。